

2022年2月号 / No.238 / 令和4年1月18日発行



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



ヤマセキ男くんとヤマセキ子さん (多々市にて / 撮影：秀島 泉さん)

野鳥さが 238号 主な内容

- 役員会報告 2ページ
- 事務局便り 3ページ
- 各地の探鳥会報告 4ページ
- 皆さんからのおたより 7ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報 9ページ
- 探鳥会会場までの案内 11ページ
- 探鳥会などのお知らせ (2022年1月下旬~3月) 12ページ



役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】2021年11月21日&12月19日

【出席者】(11/21)12名 (12/19)14名

【主な話し合い項目】(既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 探鳥会・初心者、非会員向けの探鳥会について

- ① 野鳥の会の会員増を図りたい。
- ② 初心者・非会員向けの探鳥会の開催を増やし、内容も充実させたい。
- ③ 初心者観察会においては「リーダー」と非会員での観察会として、一般会員の参加は無しとする。

(2) 珍鳥に関するトラブルについて

- ① 12月初めに佐賀市内で珍鳥クロハゲワシが発見された。
- ② 珍鳥目当てのカメラマンが全国から多数訪れ、一部のカメラマンなどがあぜ道に侵入するなどして、地元の農家・住民に多大の迷惑をかけた。
- ③ 佐賀県支部は、迷惑行為の制止や野鳥の安全確保のために連日大変な努力を続けた。
- ④ 行政や猟友会などとも連絡を取合った。
- ⑤ 今後も珍鳥発見で騒ぎになる事態は予想されるため、情報の出し方には十分気をつけなければならない。
- ⑥ 見回りは複数人で実施。腕章は活用する。 **目に余る違法行為**に関しては警察への通報も辞さないようにする。
- ⑦ 行政などの協力も求めていく。

(3) ブッポウソウの巣箱について

- ① 富士町下無津呂を中心に18個の巣箱をかけている。
- ② メンテナンスが必要。12月9日に巣箱の掃除を行った。今後もメンテナンスを続ける。

(4) フクロウ巣箱について・・・巣箱設置を計画している。巣箱のストックはあるが、新しく製作することも考えている。

(5) コアジサシの営巣地づくりについて

- ① 佐賀市諸富町内に営巣地を作る予定である。
- ② 借上げは有料とのこと。細かい条件について交渉中である。さが未来創造基金からの補助金を有効活用していく。
- ③ カラスなどの天敵に対しては、フェンス設置や見張りなどを行うことになろう。

(6) 環境サポーターについて

- ① 佐賀県支部からは4人が佐賀県環境サポーター(※)となっている。



- ② 出前探鳥会などの活動提案がある。
- ③ 佐賀県支部の環境サポーターをさらに増やす事も可能。
※佐賀県環境サポーターの詳細については下記の Web サイトをご覧ください。

<https://uruci-saga.org/supporter-gaiyou.html>

- (7) その他・・・カササギ絵本づくりに関しては、サントリーからの助成金は申請したが残念ながら企画は通らなかった。絵本作成はいったん断念する。
そのほか、バンディングについて、今後の探鳥会についての協議などを行った。



事務局便り

(事務局:青柳 良子)

■ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 237 号でお知らせした以降の入会者情報を お知らせいたします。

12月入会者 2名 1月入会者 1名

佐賀県支部の会員は現在234名です。

新型コロナウイルス感染予防のため野鳥の会の活動も自粛せざるを得ない状況でした。
そんなこともあってか会員数がなかなか伸びません。

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切に活動を通して
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃい
ませんか？

是非お誘いください。 野鳥の会は 「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と
人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。





各地の探鳥会報告



■東よか干潟（大授搦）探鳥会報告（佐賀市）

①【日 時】 2021年11月21日

【参加者】40名（案内役：加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、ウズラシギ、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、オグロシギ、ダイシャクシギ、チュウシャクシギ、ソリハシセイタカシギ、ズグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハイイロチュウヒ、ハヤブサ、ハシブトガラス、ミヤマガラス（36種）

【案内役より】

40名の方が参加された観察会。今回はカウンターやスコープに慣れてもらうためにクロツラヘラサギ、ダイシャクシギなど識別がしやすい個体のカウントを行ってみました。ワー、ホントにカウントするんですね！！ 凄い初めて見ました。など声をかけられる中、私何羽！ 私は何羽！ アレ？ 全然違う？ などと言いながら皆さん何度もカウントをされるなど、いい観察会でした。

クロツラヘラサギも99羽と大授搦での記録でしたし、ソリハシセイタカシギも5羽も確認出来ました。シギチ17種 他19種 計36種確認。



クロツラヘラサギ



ソリハシセイタカシギ（アボセット）

（写真提供：加藤 芳隆さん）

②【日 時】 2021年12月19日

【参加者】会員10名 一般参加者3名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キジバト、カワウ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ソリハシセイタカシギ、ダイゼン、ハマシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、トビ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、メジロ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ（36種）

【案内役より】

当日は降水確率 50%の天気予報。開始前に雨が降るが、13 人が集まりました。まずは東へ行き、当地での最多数 11 羽のソリハシセイタカシギ（アボセット）を見る。カモの群の中に白いカモを見つける。マガモのアルビノ（白化個体）で結着する。アオアシシギの群の中にアカアシシギ・ツルシギを観察中に雨が強くなり、いったん観察を中止して引き上げる。小雨となり公園の中に回り、ビジターセンター「ひがさす」の研修室で鳥合わせをして終了する。

■巨勢川調整池探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2021 年 11 月 28 日

【参加者】 会員 32 名 一般参加者 5 名 （案内役：島田 洋）

【観察された野鳥】 カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミサゴ、オオタカ、トビ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、キジバト、ドバト、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ミヤマガラス （37 種）

【案内役より】

晴天でした。しかし風は寒い。縄文館前の駐車場が集合場所。9 時過ぎ観察を開始しました。調整池を一周しながら野鳥を観察します。一周 2800m。広い水面に多くの水鳥が観察できました。池周辺の芦原、樹木にも野鳥がひそんでいます。観察終了後は縄文館研修室に集ってもらい、「鳥あわせ」や「野鳥懇談会」を行いました。懇談会では、まず金立小学校 4 年の原口そうま君が研究発表を行いました。「カラスは悪くない」という演題です。充実した内容で、みんな感心していました。

その後は宮原支部長が、野鳥についていろいろ話しをしていきました。

鳥類の呼吸については、坂田さんから興味深い話がありました。哺乳類とは異なる呼吸法です。今後の観察会では、観察会の後に、「野鳥懇談会」を行おうということになっています。

野鳥に興味をもつ方が増えて会員増につながれば幸いです。

■鳥栖市・麓地区探鳥会報告（鳥栖市）

【日 時】 2021 年 12 月 25 日

【参加者】 会員 12 名 一般参加者 4 名 （案内役：橋本 泰博）

【観察された野鳥】 キジバト、アオサギ、ダイサギ、ケリ、ノスリ、コゲラ（声）、チョウゲンボウ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、ソウシチョウ

【案内役より】 (26 種)

佐賀市から東の方の観察会が非常に少ないので、鳥栖市の麓地区で初めて実施

してみた。観察の順路には、水田、畑、雑木林、荒地、小川、溜め池があり、里山コースと言える場所で、普通の留鳥や冬鳥の観察が期待できる。肌寒い風と曇天の中、観察を開始。まずは、駐車場で見つけておいたケリを近くに行ってみた。稲株が残る水田につがいがあったので、赤い目と、黄色い嘴を皆で熱心に観察した。冬場に見ることは珍しい。小鳥の混群を見たときは、みんなで興奮した。茂みでチョロチョロするソウシチョウを見ていたら、上の方でメジロが鳴き出し、エナガやシジュウカラも鳴き出した。コゲラの声も聞こえだし、ウグイスの地鳴きまで。エナガは、皆の目前までやって来て喜ばせてくれた。水鳥たちがやって来るはずの溜池に行くと、なんと、下の方は水が抜いてあり、上の方に半分くらい水があった。何もいないと思っていたら、奥の方からアオサギが飛んできて、堂々と水辺の枯れ枝にとまってポーズを取ってくれた。どこにでもいるサギだけれど、よく見ると、色も、胸の飾り羽もきれいだった。麓小学校横の小川に沿って観察していると、近くの猪よけ金網にジョウビタキの雌がとまっていたのでスコープで見ている。すると、すぐ後方の電線にチョウゲンボウの雌がとまった。かなり近い。双眼鏡やらスコープやらで、皆が喜んで観察したが、なかなか逃げ出さないのじょっくりと見ることができた。今年は冬鳥の姿が少ない。カシラダカ、ミヤマホオジロ、アトリ、ツグミなど、定番の冬鳥の姿がとても少ない。今日はツグミだけは見られ、鳥は27種を数えたので、まあまあ満足のいく観察会であったし、今回の場所が観察の適地であることが分かった。

■朝日山 New Year 探鳥会報告（鳥栖市）

【日 時】 2022年1月2日

【参加者】 会員19名 一般参加者3名 （案内役：橋本 泰博）

【観察された野鳥】 カルガモ、コガモ、キジバト、アオサギ、コサギ、イソシギ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、イカル、コイカル、アオジ、クロジ （30種）

【案内役より】

風が吹かず、寒すぎることもなくて、良いコンディションの観察会だった。まずは駐車場で点呼をとり、支部長の挨拶を終えてから、朝日山を歩き出した。駐車場で本日の半分くらいの鳥を見たけれど、山に入ると鳥影の少なさにビックリ。スコープで捕らえた鳥をじっくりと見てもらうことがない。常連のソウシチョウさえ顔を見せない。カラ類の混群にも出会わない。鳥の代わりにウォーキングを楽しむ人がやたら目についた。シロハラとヒヨドリだけは沢山いた。下りにかかって芝生広場への道すがら、ようやく2羽のアトリを見つけた。沢山いるから（集鳥）アトリなのに「a tori」というくらいだ。今年の冬はアトリやツグミが非常に少ない変な冬だ。山をおりてからようやく鳥が出始めた。川にはカモ類、サギ類に続いて、イソシギなどが顔を見せた。

期待のカワセミは、顔を見せたけれども長居をせずに、スコープで観察はできなかったのが残念だった。ここで参加者の男性が、水を飲むシロハラを見つけた。川原の、イソシギのすぐ近くで水を飲んでいて、初めて見る光景だった。最大の山場は終盤にやって来た。まもなく出発点に帰着するという頃、道路脇の頭上に茂るムクの実を食べる3羽のイカルを見つけた。みんなで見ていると、「コイカルが混じっている」の声。1羽がコイカルだった。元々少ない鳥だし、朝日山探鳥会で見るのは全く初めてのことだった。嬉しい初出現を、みんなでしっかり観察することができた。新年早々、世の皆が酒でも飲んで浮かれているところ、朝日山探鳥会に参加された皆さん、お疲れ様でした。意欲的に観察される方が沢山集まり、楽しい観察ができました。新しくなったばかりのこの年、たくさんの鳥や鳥友との楽しい出会いがあることを願っています。

■出水探鳥行報告（鹿児島県出水市）

【日 時】 2022年1月9日～10日

【参加者】 会員13名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】 カンムリカイツブリ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ミサゴ、トビ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサ、ヒシクイ、マガン、カリガネ、ツクシガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、コガモ、カルガモ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ナベヅル、マナヅル、カナダヅル、ソデグロヅル、クロヅル、ソリハシセイタカシギ、タゲリ、イソシギ、タシギ、キジバト、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、ニューナイスズメ、スズメ、コクマルガラス、ミヤマガラス、ハシブトガラス、ハシボソガラス

【案内役より】 (51種)

恒例の出水へつるに会いに行ってきました。久々に渡来したソデグロヅル、九州ではなかなか出会えないカリガネが見られ、ワイワイと楽しい探鳥行でした。



ソデグロヅル



(写真提供：加藤 芳隆さん)





皆さんからのおたより



●「八郎潟遠征記」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

佐賀支部有志（ただのトリきち）で12月13日～16日、八郎潟に遠征しました。広大な田園地帯でハクガン、シジュウカラガン、ヒシクイ、マガン、ハクチョウが群れで越冬しています。アオハクガン、オジロワシ、アメリカコハクチョウにも会えて大満足でした。「ハクガン」が群れで飛ぶ姿は雪が降っているようでした。



ハクガンたち



アオハクガン（手前）



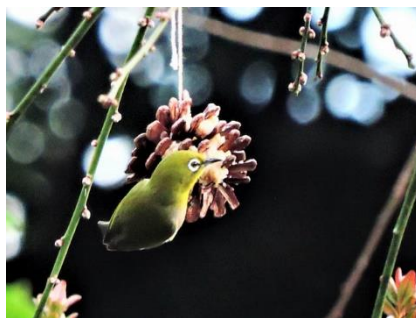
ハクガン飛翔

●「バードケーキに来る鳥たち」・・・小松 常光さん（唐津市）

今冬はシジュウカラ用にバードケーキを作ってみました。シジュウカラは大喜びのようで、たまにメジロやアオジ、ヒヨドリも来ています。ヒヨドリは止まれないので宙吊りで動くエサに難儀していましたが上手になりました。昨年未からアトリはわずかな数しか姿を見せません。代わってスズメが餌台のくず米にたかっています。



シジュウカラ



メジロ



ヒヨドリ





皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

21年11月～【東よか干潟】ソリハシセイタカシギ 11
21年12月 【大分県宇佐】タンチョウ



ソリハシセイタカシギ



タンチョウ

■八木 ひとみさん（佐賀市）

11月20日【東よか干潟】コハクチョウ2、ヒシクイ5、ソリハシセイタカシギ5
12月4日 【佐賀市嘉瀬町】クロハゲワシ
12月11日【佐賀空港付近】マガン15、コミミズク



コハクチョウ



クロハゲワシ



コミミズク

- 1月8日 【巨勢川調整池】トモエガモ 日没直後に飛び立つ（およそ4000羽）
この後、半数は別れて餌場に移動したようだった。
- 1月9日 【巨勢川調整池】トモエガモ、ミコアイサ♂1♀3
ミコアイサ♂はエクリップス？ トモエガモの半数ほどが昼近く池に戻ってきた。
- 1月10日 【川上峡梅野】カワアイサ♀2 羽根の折れた個体は2018年から見ているので4年目になった。 ヤマセミ、ノスリ、カワウ、オシドリ、マガモ、カイツブリ、オオバン



トモエガモ飛翔



ミコアイサ♀ & めエクリプス?



羽根折れカワアイサ

■秀島 泉さん (多久市)

11月5日、12月4日【多久市】ヤマセミ♂ & ♀
自宅裏の川で撮影したヤマセミ男君とヤマセミ子さんペアです。
河川工事が始まっていたので心配していましたが、ほっとしています。



■水田 稔さん (神崎市)

12月15日【佐賀空港】ケアシノスリ
12月27日【神崎市】トラフズク 昨年も観察された千代田町のクリーク公園です。



ケアシノスリ



カモ & ケアシノスリ



トラフズク

～野鳥さが原稿募集中～

- ① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。
- ② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡！

①1月23日 佐賀市・巨勢川調整池



②1/30 ⑦3/27 佐賀市・佐賀県立森林公園



③2月13日 唐津市・松浦河畔公園



④2/20 ⑥3/20 佐賀市・東よか干潟



⑤3月6日 小城市・小城公園





探鳥会などのご案内

(2022年1月下旬～3月)

①1月23日(日)

巨勢川調整池探鳥会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 佐賀市金立町の
東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] 調整池で越冬する「カモ類」「オオタカ」、
葦原の「ホオジロ類」を観察します。
今年も「トモエガモ」の大群が見られそう。
(トイレあり)

②1月30日(日) ⑦3月27日(日)

佐賀県立森林公園

「初心者」探鳥会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00
森林公園北側駐車場(佐賀市久保田町)
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] ベテランリーダーが野鳥のを見つけ方や生態
を丁寧に説明します。野鳥に興味のある方、初心
者の方、お待ちしております。(トイレあり)

③2月13日(日)

松浦河畔公園観察会(唐津市)

[集合] 9:00 同公園管理事務所前の駐車場
[担当] 佐久間 仁さん(唐津市) 090-8407-8347
[見どころ] 松浦川河口の「海ガモ類」やあし原の
「小鳥たち」を観察します。(トイレあり)

④2月20日(日) ⑥3月20日(日)

東よか干潟(大授瀬)探鳥会(佐賀市)

[時間&場所] (2/20) 10:00 (3/20) 9:00
東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 干潟で冬を過ごす「クロツラヘラサギ」「ズグ
ロカモメ」「ツクシガモ」等を観察します。
滞在中の「ソリハシセイタカシギ(アボセット)」は見ら
れるかな?(トイレあり)

⑤3月6日(日)

小城公園探鳥会(小城市)

[集合] 9:00 小城公園駐車場(小城市小城町)
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 桜で有名な小城公園ですが、今回は
「梅」と「公園の鳥たち」を観察します。
(トイレあり)

探鳥会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト
(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は
宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡
をして下さい。

※新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、観察会は当面「会員のみ」でおこないます。
一般の方はご遠慮願います。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>